

## 製品安全データシート

### 【Safety Data Sheet】

作成日 2016 年 10 月 11 日

#### 1. 製品及び会社情報

製品の名称： アキュプローブ 同定用補助試薬  
構成試薬名称： 試薬 3  
会社名： ホロジックジャパン株式会社  
住所： 東京都文京区後楽 1 丁目 4 番 25 号  
電話番号： 03-5804-2340  
FAX 番号： 03-5804-2320  
メールアドレス： japan@hologic.com  
推奨用途及び使用上の制限： 体外診断用医薬品  
カタログ No： 102800 (102800-01)

#### 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分 2

生殖毒性：区分 1B

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 2

（注）記載なきGHS分類区分：該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

皮膚刺激

強い眼刺激

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害のおそれ

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：

混合物 ※注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
水酸化ナトリウム	< 1	1310-73-2	1-410
ホウ酸	1 - 10	10043-35-3	1-63
トリトン X-100	< 1	9002-93-1	7-172
水	残り	7732-18-5	-

危険有害成分

毒物及び劇物取締法，安衛法「表示、通知すべき有害物」，化管法に該当する危険有害成分なし。

### 4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

### 5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

（取扱者のばく露防止）

ミスト/蒸気を吸入しないこと。

安全取扱注意事項

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

（水酸化ナトリウム）

日本産衛学会(1978) (最大値) 2mg/m<sup>3</sup>

（ホウ酸）

ACGIH(2004) TWA: 2mg/m<sup>3</sup>(I)

STEL: 6mg/m<sup>3</sup>(I) (上気道刺激)

(水酸化ナトリウム)

ACGIH(1992) STEL: 上限値 2mg/m<sup>3</sup> (上気道, 眼および皮膚刺激)

ばく露防止

設備対策

排気/換気設備を設ける。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

## 9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状：液体

色：無色

pH：8.5

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

## 11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性（経口）

[日本公表根拠データ]

(ホウ酸)

rat LD50=2660-5140 mg/kg (NITE初期リスク評価書, 2008)

労働基準法：疾病化学物質

水酸化ナトリウム

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

(ホウ酸)

モルモット/ラビット 軽度から中等度の皮膚刺激性 (PATTY 6th, 2012)

(水酸化ナトリウム)

ブタ/ラビット 重度の壊死 (ACGIH 7th, 2001et al)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(ホウ酸)

ヒト 刺激性 (ACGIH 7th, 2005et al)

(水酸化ナトリウム)

ラビット 腐食性 (SIDS, 2009)

(トリトン X-100)

ラビット 7から21日に回復 (ECETOC TR 48 (2), 1998)

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

(ホウ酸)

ACGIH-A4(2004)：ヒト発がん性因子として分類できない

生殖毒性

[日本公表根拠データ]

(ホウ酸) cat.1B; NTP DB, 2013

催奇形性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(ホウ酸) 消化管、中枢神経系 (ACGIH 7th, 2005)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(ホウ酸) 気道刺激性 (ECETOC TR 63, 1995)

吸引性呼吸器有害性データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生毒性（急性） 成分データ

[日本公表根拠データ]

(水酸化ナトリウム)

甲殻類（ネコゼミジンコ属） LC50=40.4mg/L/48hr (SIDS, 2004)

(ホウ酸)

藻類（*Pseudokirchneriella subcapitata*） ErC50=290 mg/L/72hr（環境省生態影響試験, 2008）

(トリトン X-100)

魚類（ブルーギル） LC50 = 3 mg/L/96hr (ECETOC TR91, 2003)

水生毒性（長期間） 成分データ

[日本公表根拠データ]

(ホウ酸)

魚類（ニジマス） NOEC=2.1 mg/L/87days（環境省リスク評価第6巻, 2008）

水溶解度

(水酸化ナトリウム)

109 g/100 ml (20 C) (ICSC, 2010)

(ホウ酸)

5 g/100 ml (PHYSPROP Database, 2005)

残留性・分解性

(トリトン X-100)

急速分解性なし (BIOWIN)

生体蓄積性

(ホウ酸)

log Pow=-1.09 (ICSC, 2014)

土壌中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

### 13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

### 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質 (Y類)

水酸化ナトリウム

有害でない物質(OS類)

水

### 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機溶剤等に該当しない製品

労働安全衛生法に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

## 土壤汚染対策法

### 第二種特定有害物質 重金属等

ホウ酸

政令番号23 :

含有量  $\leq 4000$  mg/kg

溶出量  $\leq 1$  mg/liter

第二溶出量  $\leq 30$  mg/liter

地下水  $\leq 1$  mg/liter

土壤環境  $\leq 1$  mg/liter

## 水質汚濁防止法

### 有害物質

ホウ酸

法令番号 24: 海域以外 C 10mg/liter, 海域 C 230mg/liter

### 指定物質

水酸化ナトリウム

法令番号 6

## 16. その他の情報

### 参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDE BOOK (US DOT)

2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2015 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information



#### 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実験を対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(NITE 平成26年度)です。